

主な過去災害事例集

平成29年(2017年)2月10日

降雪量が普段少ない地域での大雪

小浜市で記録的な大雪、ビニールハウス倒壊、
漁船の浸水、交通機関の乱れ

小浜市で記録的な大雪

【気象概況】

平成29年(2017年)2月10日、上空約5000メートルに氷点下39度以下の寒気が流れ込み、日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)が形成され、山陰地方を指向していました。10日午後から若狭湾から嶺南西部に短時間に強い降雪があり、積雪量が多くなりました。

【観測記録】

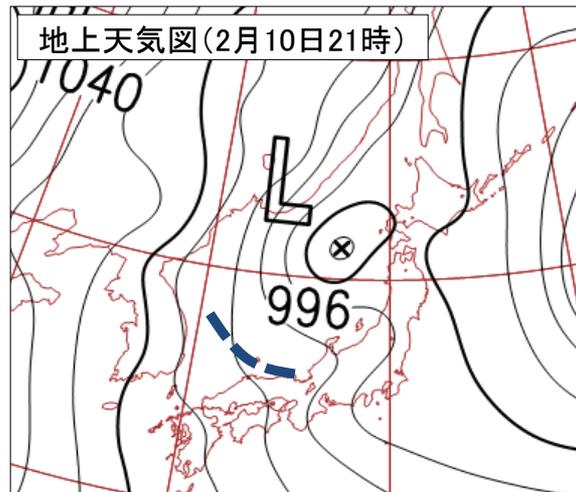
小浜市では、午後から降雪量が多くなり、特に10日16時頃から21時頃にかけて1時間に10センチ前後の雪が断続的に降りました。また、10日の最深積雪は76センチを観測しました。

【被害の概況】

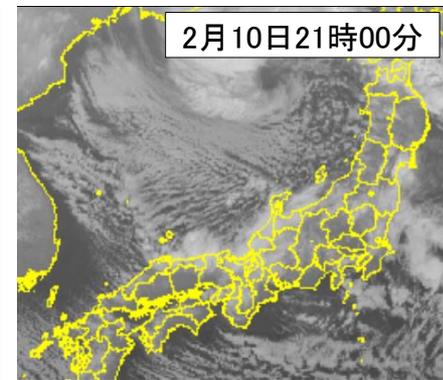
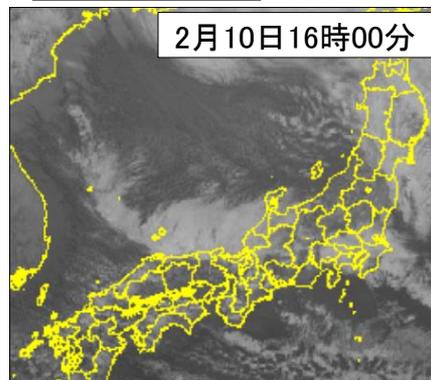
除雪作業での負傷者や漁船の浸水、農業施設被害(ビニールハウス倒壊、小浜市で1棟、若狭町で5棟)が発生しました。また、JR小浜線など公共交通機関が運休しました。その他、小浜市内で停電となり、215棟が影響を受けました。

地点	小浜	
細分	嶺南西部	
標高	10m	
時刻	降雪	積雪
10	0	1
11	3	4
12	0	4
13	1	5
14	6	11
15	0	8
16	13	21
17	11	32
18	7	39
19	9	48
20	10	58
21	11	69
22	2	71
23	3	74
24	2	76

■ :降雪 10cm以上
■ :積雪 50cm以上



衛星赤外画像



山陰沖から若狭湾にJPCZが発生し、雪雲の活動は活発化